

1月19日(火曜日)
ユーロ/円
ユーロ/ドル
豪ドル/円

日米株価動向に注目

18日(月)の主な推移



期間：18日(月)午前7時～19日(火)午前7時
※チャートは30分足 日本時間にて表示
出所：外為どっとコム

①

ユーロ/ドルは15日(金)の終値1.4386ドルに対し、1.4353ドルで取引を開始した。17日付けの英テレグラフ紙が、「ECBは、ギリシャがユーロを離脱しようとした場合の法的な影響を分析する」と伝えた事で、取引開始からユーロ売りが優勢となり、ユーロ/ドルは1.4334ドルまで下落した。

②

日経平均株価が下げ幅を拡大すると、リスク回避の動きが強まり、クロス円(ユーロ/円や豪ドル/円など)は本日安値を付けたが、欧州勢の参入後は、時間外のNYダウ先物の堅調推移や原油先物価格の持ち直しを背景にクロス円を買い戻す動きが強まった。

③

米国がキング牧師誕生日で休場のため閑散取引となる中、ドル/円の下げにつれてクロス円も弱含む場面があったが、時間外のNYダウ先物や、国際商品価格の上昇から、ユーロや豪ドルを買う動きが見られ、ユーロ/ドルは1.4399ドル、豪ドル/円は84.23円まで上昇した。

ユーロ/ドル、ユーロ/円の要因

- ・リスクを取ることに積極的になる動きから、円売り、高金利通貨買いの流れ(ユーロ/円上昇要因)
- ・主要新興国(BRICs)を中心にドル離れに動くとの観測(ユーロ上昇要因)
- ・米低金利政策長期化観測に伴う米長期金利の低下(ユーロ/ドル上昇要因)
- ・米景気回復に伴う米長期金利の上昇(ユーロ/ドル下落要因)
- ・リスクを取ることに消極的になる動きから、円の買い戻しの流れ(ユーロ/円下落要因)

豪ドル/円の要因

- ・リスクを取ることに積極的になる動きから高金利通貨買いの流れ(豪ドル/円上昇要因)
- ・豪利上げ観測に伴う日豪金利差の拡大(豪ドル/円上昇要因)
- ・株価、資源価格の上昇(豪ドル/円上昇要因)
- ・日銀による追加金融緩和観測(豪ドル/円上昇要因)
- ・豪州中銀による利上げ観測の後退(豪ドル下落要因)
- ・株価、資源価格の下落(豪ドル下落要因)
- ・リスクを取ることに消極的になる動きから、円の買い戻しの流れ(豪ドル下落要因)

本日の見通し

本日の予想レンジ

ユーロ/ドル: 1.4280-1.4480ドル
ユーロ/円 : 129.50-132.00円

本日の予想レンジ

豪ドル/円: 83.00-85.00円

アジア時間には目立った材料がなく、各国株価や時間外の商品市場の動向につれた動きとなりそうだ。欧州時間には1月の独ZEW景況感調査が発表されるが、ギリシャ問題など不安を抱えるユーロ圏経済の先行きを、機関投資家やアナリストらがどのように予測しているかが注目される。市場はユーロの悪材料には敏感になっており、ZEW景況感調査が予想を下回るようだとユーロ売りが強まる可能性もある。その後は、今日から本格化する第4四半期決算発表を受けてのNY株式市場の動向に注目される。

米商品先物取引委員会の持ち高規制案を受けて軟調推移となっていた原油価格が下げ止まる動きを見せており、豪ドル相場の下支え材料となりそうだ。豪ドル/円の値動きは、投資家のリスク許容度の上下によって決まりやすく、アジア時間には日経平均株価の、欧米時間にはNYダウ平均株価の動向につれる傾向が強い。とはいえ、豪中銀による2月の追加利上げがほぼ確実視されており、下値不安は乏しく、底堅い動きが予想される。

本日及び明朝の注目イベント

※注目度が高い順に「◎」「○」「無印」で表示 日本時間での表示

日付	時間	注目度	経済指標、イベント等	前回発表数値	市場予想
1/19(火)	19:00	○	(独) 1月 ZEW 景況感調査	50.4	50.0
	22:00	○	(米) シティ・バンク決算発表	-	-
	23:00		(米) 11月対米証券投資 [ネット長期フロー]	+207億 USD	+275億 USD
1/20(水)	06:15	○	(米) IBM決算発表	-	--
	06:45	○	(NZ) 第4四半期消費者物価 [前期比]	+1.3%	± 0.0%

※発表時刻は予告なく変更される場合があります。また、※予定一覧は信頼性の高いと思われる情報を元にまとめておりますが、内容の正確性を保証するものではありませんので事前にご留意くださいますようお願いいたします。

本レポートは、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的として提供するものではありません。投資方針や時期選択等の最終決定はご自身で判断されますようお願いいたします。また、本レポートに記載された意見や予測等は、今後予告なしに変更されることがございます。なお、本レポートにより利用者の皆様に生じたいかなる損害についても、株式会社外為どっとコム総合研究所ならびに株式会社外為どっとコムは一切の責任を負いかねますことをご了承願います。